

100歳のお祝い

西●英●さんへ、台東区長から100歳のお祝いの言葉が届きました。賞状、花束、金一封を頂きました。記念撮影はいつものポーズで！【T.I】



太●博●さん 享年74歳

12月12日に旅立たれました。入居者様には満面の笑顔で挨拶。スタッフには厳しいご指導の言葉を頂きました。亡くなる数日前、受診後の帰宅途中に上野駅迎りをドライブしましたね。身を乗り出して焼き鳥の香りを堪能する姿を忘れません。



ようこそおはなへ 池●●さん (71歳)

縁あって今年の1月18日におはなに入居されました。日も浅いので遠慮されていますが、おはな付近を散歩されていたとの事。じきになじむでしょう。楽しい毎日と一緒に過ごしましょうね。



●さん、お疲れさまでした!!

入居者様に寄り添い仕事をしようと思ってきました。失敗もあったけど懐の深い皆様に助けられました。エプロンの紐の縦結びをいつも直してくれた子●●さん、ありがとう。4年間お世話になりました。

【K.H】

ある日の★ いろは商店街

1/28、都内でも雪が降りました。ふわふわと舞う雪のなか、ディスプレイからおはなへ帰る利用者さんです。

クリスマス前、いろは商店街にキラキラとまばゆいイルミネーションが!!いつもと違う幻想的な雰囲気に包まれていました。



年末年始 健康相談会

12/29、恒例の年末年始緊急宿泊前の健康相談に参加しました。コロナ禍のため、こんな装備でしたが(写真参照)、皆さん慣れたものでいぶかる人もおらず…相談者はわずかでしたが、そのうちのおひとりが年明け、コスモスの利用者さんになりました。珍しい出会いです。【E.M】



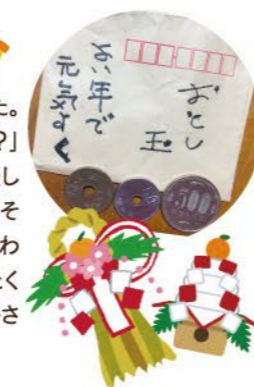
NHKラジオNらじ 平●所長出演!

2021/2/9「コロナ禍「命に寄り添う」訪問看護」をテーマに、平●所長が出演しました。厳しい状況のなか、悩みを抱えながらも手探りで向き合ってきた訪問看護の現場。放送は3/9までですが、文章でも読むことができるので、興味のある方は是非!



お年玉、ありがとう

大晦日のふるさと越年健康相談に、小学2年生の娘と参加しました。ホッカイロを配布し、「貼るのと貼らないの、どちらがいいですか?」と声をかけました。炊き出しに並んだ人たちの、子どもに対する優しいまなざしを感じることができ、親子で貴重な時間となりました。そして年明け1/3の越年健康相談のとき、「娘さんに」とお年玉をわざわざ用意してくれ方がいました。中身はなんと555円!! たくさんのご縁が舞い込んきそうなお年玉に、娘とほっこり。人の温かさを感じる、忘れられない出来事となりました。【A.T】



第67号 2021年2月

本部 〒111-0021 東京都台東区日本堤1-12-6 訪問看護ステーションコスモス
事務所 ☎ 03-3871-7228 FAX 03-3871-7229
URL <http://www.s-cosmos.org/> MAIL s.cosmos@cronos.ocn.ne.jp
発行責任者:山●眞●● 編集委員:渡●●織●●

イベントが軒並み中止となり、楽しみを見つけづらい一年でした。「笑えなくなるのは人生の危機」と説いたのは、「死の哲学」で有名なアルフォンス・デーケン博士。彼は困難な時にこそ笑うこと、ユーモアが救いになると伝えてきました。ユーモアとは「にもかかわらず笑うこと!!」だそうで、ストレスに満ちたいまこそ、日々のなかにある小さな笑いを大切にしたいなあと思います。【S.O】

ご寄附を
ありがとうございます

「いづの間、コスモス「コスモスハウスおはな」に、多くの方から沢山の「寄附」を頂きました。利用されている方々や私達にとって、大変有難く心温まるご支援です。この場をかりて、深くお礼申し上げます。

皆様からの「ご寄附」をお待ちしています
下着衣類、靴下、石けんタオル(使用済み可)スーパージ袋等

市●あ●●様 今●又●●様
遠●知●●様 岡●保●●様
小●ゆ●●様 中●正●●様
カインドケアステーション文京様
黒●●●様 小●か●●様
小●淑●●様 斎●幸●●様
佐●寿●●様 鳥●マ●●様
杉●み●●様 館●尚●●様
高●繁●●様 高●麻●●様 朴●●●様
平●葉●●様 林●保●●様 福●浩●●様
丸●文●●様 脇●美●●様
渡●由●●様 ノ●●●様

巻頭言 理事長山●眞●●より 新たな飛躍にむけて!!

2021年新しい年を迎えました。感染した方、尊い生命を失った方の無念の思いを真摯に受け止め、今後に生かしてゆく必要があります。

訪問看護ステーションコスモスは、昨年創立20周年を迎え記念講演会等を企画しておりました。しかしコロナ禍の中、残念なことに記念イベントは実現することが叶いませんでした。更に追い打ちをかけるように、商店街にある現在の事務所よりの立ち退きを言い渡され、途方に暮れる日々が続きました。しかし「ピンチをチャンスに!!」と考え、これを契機に新社屋

建設、事務所等の移転を決意しました。6月からは新社屋での仕事が始まります。

波乱含みの門出ですが、今年が新たな飛躍につながりますように、スタッフ一同頑張ります。皆様のご支援、今後も宜しくお願い致します。



たぐいまる新社屋建設中!!

コスモス写真館

4人でスタートしたコスモスは、現在、60名の職員をかかえる団体となりました。開所20周年を記念し、その軌跡を写真とともに振り返ります。



◀2002年、NPO法人自立支援センターふるさと会主催の夏まつりにて、健康相談を行っている時の一枚。玉姫公園にたくさんの方が集まり、コスモスのスタッフが血圧を測定したり身体の悩みを話したり。ふるさと主催の夏祭りはなくなったものの、今につながる活動となっています。

じちんさい 地鎮祭



2020年11/6、新社屋の建設を前に地鎮祭を行いました。工事が安全に進むよう、建設関係者およびスタッフ一同にて祈願。神主に祝詞をあげていただき、現場を清める地鎮の儀では神前につくった盛砂に向かい鍬で砂山を掘りました。

祭壇にはたくさんのお供え物が並び、「鯛」は日本堤で魚屋を営んでいた彼●●さんにさばっていただきました。さすがプロ!! あっという間にきれいなお刺身盛り仕上げてください、訪問の合間に舌鼓…幸せ。急なお祈願にもかかわらずありがとうございます。ちなみにアラは、我が家で鯛めしになりました♪【S.O】



クリスマス会



コロナ禍にて毎年恒例の「クリスマス会」が開催出来ない代わりに、12/24、コスモスアパート入居者さん達に、心ばかりのクリスマスプレゼントをお配りしました!

サンタの格好やトナカイの帽子を被った数名のスタッフが一部屋ずつノックして、「メリークリスマス!!」と扉を開けると、皆さん、ビックリしながらも嬉しそうな笑顔! 笑顔! 笑顔! はにかんだ笑顔や照れくさそうな笑顔に、こちらにまで嬉しさが伝わって、心温まる素敵な時間となりました。

今年度はコロナの影響でお花見や花火を観る会など、コスモスの行事は全て中止になっています。季節ごとの行事で、利用者の皆さんと交流できることが、本当に「大切な場」であったことに改めて気づかされました。

もう少しの間、みんなで集まることは我慢しなければなりません、早く、またみんなでたわいもないことをおしゃべりしながら、集える日が来ますように…。

【T.N】

山谷の語りべたち

第2回目

藤●●さん (96)

「藤●●商店」の元店主。
50年以上をこの街で暮らす。



お店を営んでいた当時の藤●●さん



昔のアルバムをめくり、懐かしいなあと言っている藤●●さん

時代とともに移りゆく山谷。この街をみつめてきた方々のお話は、たいへん貴重な記録であり、その語り部たちの言葉に耳を傾けていきます。

コスモス防護



コロナ禍となり1年が経とうとしています。

1年前、色々なものが不足して苦労しましたが、最近では消毒物品や PPE (Personal Protective Equipment=個人防護具) も充実してきました。区役所や保健所からも支援物資をいただき、今はしっかり感染予防しながら訪問することが出来ています。

1年長かったのか短かったのか…。マスクをはじめとする PPE、手指消毒が欠かせない生活にも慣れてきました。しかしまだまだ予断を許さない状況。気を抜かず、でも、コスモスらしく明るく楽しく、皆さんに安心して在宅医療を受けていただけるよう頑張りたいと思います。【S.W】



高●●さん撮影

渡●●看護師の母、久●●さんの絵手紙



デイサービスの一日



午後レク「新年会」が終わって10日経ち、すぐさま「節分豆まき」がありました。今年の前半は玉入れゲーム、鬼が的なので心置きなく攻撃できます。後半に豆まきですが、その前に作業が1つ。ウイルスに色を塗って、鬼の体にベタベタ貼っていく。今年は鬼だけでなく、疫病(ウイルス)退散の願いも込めた構成です。そうして始まった豆まき、ひとり通り暴れて豆をぶつけられ、鬼とウイルスが退散しました…が、豆まきは終わらず、鬼じゃない人同士で投げ合う光景が!「日頃の恨み?」「ストレス発散?」鬼がいなくても充分やっていけそうな気がするレクですが(鬼より怖い職員がいる?)、最後は笑顔で終わりました。【K.S】

旅立ち 鈴●勝●さん

勝●さんは、草花や苔をこよなく愛する人でした。近所の花を見て回るのが好きで、草花の名前にとても詳しく、「蚊取り線香の原料の花なんだよ」とか、「雑草」と思っていた花にもひとつひとつ名前があることとか、よく教えてくれました。花壇にゴミが捨ててあるのを見ると「こんなところにゴミを捨てる奴がいる」と怒っていました。

ゆらゆらと自転車をこいで、よくどこかの草花を取ってきていました。「他人んちの花じゃないよ、道路に咲いてたんだよ」と言いながら。ある日「ゴミ箱に捨てられてた」と言って、根っこがむき出しになった枯れかかった梅の花の盆栽を持ち帰ってきたので、仕方ないので一緒に鉢に植えました。数日後、「あっ、花が咲いてる!」と思ったら、本人が梅の蕾を取って来て枝にくっつけていたのです。なんとという花咲か爺さん! (笑)。やっぱりもう枯れてるのかなあと思っていたら、その後なんと新芽が出て、喜んでいたのも束の間、ある日鉢ごとどこかへ消えてしまいました。相当がっかりしているだろうと思ったら、「仕方ないよ、盗まれる方が悪いんだ…」と落ち込みながらも受け入れていました。それから、新しくコスモスの種を撒いた鉢もまた盗まれてしまい、それでもめげずコスモスの駐輪場の金網に、新たな鉢を結び付けていました。

戦中の足立区生まれで、B29が沢山飛んでいたのを覚えている、6人兄弟の末っ子で、兄貴が出来が良く、比べられるのが嫌で子供のころから悪いことばかりして、盗んだものを売ったりしていたんだと話していました。30~40代の頃に山谷に来て、「ニコヨン」(当時、日雇労働者の定額日給が240円だった) やった頃が



一番自由でよかったと。

だんだん思うように動けなくなり、とうとう自転車にも乗れなくなってしまった勝●さん。それでも、遠いところまで外に出ては、苔を眺め、動けなくなるとは道路に座り込んでいたので、通りかかる人々によくお世話になっていました。

たくさんお金があるわけじゃないのに、美味しいものがあると「食いなよ」とよく私たちにくれようとしていました。コスモスのクリスマス会に参加した時は、職員のお子さんが一生懸命けん玉を披露してくれているのを見て、ぼろぼろ涙を流していました。心根の優しい人でした。

もともと肺の病気があって具合が悪くなり入院になったのですが、そのまま帰らぬ人となってしまいました。火葬が終わった後、勝●さんの鉢にコスモスの種を蒔きました。

いつの間にかいろんな草が生え、賑やかな鉢になっています。

【M.I】

新しいつながり インテグレーション上野



こんにちは。令和2年6月1日に、この山谷地域でインテグレーションセンター上野という障害福祉サービス(生活訓練事業)のデイケアをスタートしました。

「インテグレーション」という言葉は「差別を撤廃し、統合する」などの意味があります。ダルク創設者である近藤恒夫氏(写真中央)が、ダルクを運営するときに大切にしていた「差別しない、排除しない」を基に「インテグレーションセンター上野」という名を付けてくれました。今こうして活動が出来ているのも、行政・福祉、地域の方たちなどが協力してくれたお陰です。山谷に、私たちの居場所ができました。

今回友愛会の田中さん、コスモスの渡辺さんを通じてコスモスの皆さんと繋がることができました。本当に感謝しております。これからも、どうぞよろしく願っています。

インテグレーションセンター上野 所長: 高●●

私がアルコール依存症のケースに悩んでいた時、友愛会の田●●さんが高●●さんを紹介してくださり「インテグレーションセンター上野」と繋がりました。デイケアと寮を運営し、様々な依存症に悩む方の受け入れをされています。今後、コラボしていただけると思うととても心強いです。どうぞよろしく願っています!【S.W】

コスモス寿通信

横浜から楽しい話題を2つお送りします。ことぶき共同診療所の発熱外来用(コロナウイルス対策)のテントも今週は閉じたままで、陽性者が減りつつあることを実感するようになってきました。



そんな緊急事態宣言発令中の横浜ですが、ワクワクする話題が2つあります。1つはGANDAM FACTORY YOKOHAMAの18mの実物大ガンダムです。横浜港を見渡せる山下ふ頭にあり、制作に6年かかり、日本のものづくりと優れた技術力の融合を体験できる施設になっています。ガンダム世代で、早速行ってきた利用者Mさんによると入場料1650円で非売品のガンダムのプラモデル付きだそうです。山下公園を歩くようになればもっと面白いのにとのことでした(3/31まで)。

2つ目はYOKOHAMA AIR CABINと呼ばれる、桜木町駅とみなとみらいを結ぶ日本初の常設都市型ロープウェイです(1989年の横浜博にはそごうから会場までのロープウェイがあった)。全長1260m 定員8名 片道5分 1000円となっています。4/22から運行開始予定です。コロナ禍ではありますが、ガンダムと世界最新のゴンドラで近未来を体験してみたいかでしょうか?【T.N】